

赤塚 中学校区（ 木山 小， 赤塚 小， 赤塚 中）

【目指す子どもの姿】

目標をもち、主体的に課題解決に向かう子ども
地域から学び、共に伸びていく子ども
相手を思いやり、協働する子ども

〈 「目指す子どもの姿」の設定の仕方 〉

小学校・中学校全職員に校区内の保育園職員を加えた、保小中連携推進協議会合同研修会（8月）を開催し、保育園での参観の後、情報交換・意見交換を行った。少人数グループでのファシリテーションにより、参観を通して学んだこと・考えたことを出し合うとともに、各校園での教育課題や「こんな子どもに育てたい」「こんな人に育てたい」という思いを出し合った。

その後、意見を集約して「目指す子どもの姿」の原案を作成し、校長会での検討、各校の教頭・教務主任からなる運営委員会での検討、各校の総合学習担当・学習指導主任・生徒指導主事・生活指導主任からなる活動推進部会での検討を通して、「目指す子どもの姿」を決定した。

決定した「目指す子どもの姿」については、保小中連携推進協議会合同研究大会（11月）において全職員の共通理解を図った。

◆共通プログラム

① 「9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間」における小中一貫した教育としての取組

別紙参照：様式2「各中学校区における小中一貫した教育の取組2」

〈 「身に付けさせたい資質能力」とその実現に関わる方法について 〉

【身に付けさせたい資質能力】

- ・ 目標を明確にし、主体的に課題解決に向かって努力しようとする力
- ・ 地域から学び、地域に貢献しようとする姿勢
- ・ 相手の立場や気持ちを考え、協力し合って活動できる力

【その実現に関わる方法】

- ・ 地域における活動を重視する。特に、佐潟とその周辺の砂丘地帯を、小中の共通した学習フィールドと捉え、9か年を通して、発達段階に応じた学習内容を工夫する。
- ・ 地域の事業所や施設などの協力を得て、地域の課題を、子どもが主体的に考えると同時に、協働して解決していけるような学習内容を工夫する。

② 「9年間を見通した学習の仕方」の取組

「9年間を見通した学習の仕方」の内容

赤塚中学校区学習スタンダード ～これだけは身に付けよう～

学校で 【準備・構え】

- ・身の回りの整理整頓をする。
- ・提出物は朝一番に担任に渡す。
- ・休み時間に、次の時間の準備をする。
- ・机の上に、教科書、ノートを整理して置く。
- ・時計を見て行動する。
- ・時間になったら活動を始める。

【姿勢】

- ・正しい姿勢でいすに座る。
- ・正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。

【話す】

- ・名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。
- ・その場にふさわしい言葉遣いと声の大きさと話す。
- ・聞いている人を見て、はっきりと分かりやすく話す。

【聞く】

- ・発表者の方に体を向けて、最後まで静かに聞く。
- ・発表者の発言をまとめながら聞く。(小学校高学年から)
- ・考えの違いに着目して聞く。(小学校高学年から)

家庭で 【目安となる家庭学習時間】

- ・小学校 学年×10分
- ・中学校 学年×20分+60分

【よりよい家庭学習習慣を身に付けるために】

- ・全ての持ち物に名前を書く。
- ・連絡帳にサインしてもらう。
- ・忘れ物がないように事前にチェックする。
- ・テレビや音楽を消して集中して学習する。
- ・宿題を忘れずにする。
- ・復習(学習の振り返り)を行う
- ・(定期)テストの準備をしっかり行う。
- ・学習に必要な物は持っていない。
- ・学習方法を工夫し自分にあった方法を見つける。
- ・予習を行う。(中学校から)

〈「9年間を見通した学習の仕方」の設定・運用の仕方〉

学習指導主任が集まり、各校の学校評価の内容と学習の実態を確認することを通じて、小・中学校の学習における課題を把握した。また、「新潟市の授業づくり」「新潟市の家庭学習」リーフレット等を参考にして、小・中学校を通じて、子どもたちがどのように学習に臨んでいくことが望ましいのかを検討

し、「赤塚中学校区学習スタンダード」を作成した。学習スタンダードには、学校での学習の仕方とともに、家庭での学習の仕方でも示した。全学級に掲示し、全家庭にも配布して共通理解を図った。小中合同の家庭学習強調週間を年4回設定し、学習時間を記録した。

1月には、中学校職員が小学校で出前授業を行う。

これらの実践事項については、三校校長会・運営委員会・活動推進部会で振り返りを行い、修正を加えている。

③ 「小中一貫合同研修会」の取組

「小中一貫合同研修会」のねらいや次第・研修内容の概略

I 赤塚中学校区保小中連携夏季研修会

1 ねらい

保小中共通の教育課題を認識し、今後の連携した取組についての方向性を探る。

2 次第

(1) 保育参観 校区内三つの保育園・こども園を小中職員が参観した。

(2) 情報交換会 保育参観を通して学んだこと・考えたことを出し合うとともに、「目指す子どもの姿」の実現に向け、保小中が連携した取組について意見交換する。

(3) 分科会 総合学習連携、学習指導、生徒指導の3分科会に分かれ、それぞれ「目指す子どもの姿」に向けて、連携した取組の計画を検討する。

*各部会とも、保小中の職員が入り交じった少人数グループでの話し合いを行う。

(4) 人権教育研修会

テーマ「LGBTなどの性的マイノリティへの差別や偏見をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会を築くため、学校現場ではどのような認識・対応したらよいか」

3 研修の概略

保育参観とその後の情報交換会では、各園での教育課題を知るとともに、今後各校園が連携して行っていくことのできる取組について意見を出し合った。

分科会では、総合学習、学習指導、生徒指導の各分野から、「目指す子どもの姿」の実現に向け、今年度の取組の計画について、意見を出し合い、共通認識をもった。

人権研修会では、性的マイノリティの視点から、個々の多様性を受け入れ、協働していくインクルーシブ教育の重要性を再認識することができた。

II 赤塚中学校区保小中連携秋季研修会

1 ねらい

赤塚中学校区の校園の連携を深めることにより、地域の中で共に伸びていこうとする子どもの育成を目指す。

2 次第

(1) 授業参観（赤塚小学校 全学級の授業）

(2) 分科会 総合学習連携、学習指導、生徒指導の3部会に分かれる。それぞれ「目指す子どもの姿」に向け、連携した今年度の取組の成果について報告し、今後の連携の方向について

て意見交換する。

*各部会とも、保小中の職員が入り交じった少人数グループでの話し合いを行う。

(3) 全体会 分科会での話し合いの概要を発表し合い、情報を共有する。

3 研修の概略

上記(2) 総合学習連携部会では、予め各校の総合学習担当が集まって作成した「9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間」の計画について、各校の実践の状況を報告し合いながら、改善点を出し合った。

学習指導部会では、「9年間を見通した学習の仕方」の指導について、また「学習へのやる気」をどのようにもたせていくかについて、各校からの報告と今後の取組の方向性について話し合った。

生徒指導部会では、独自プログラムとして取り組んでいる「爽やかなあいさつの実行」と「情報機器の使い方の指導」について、各校における実践報告を行い、今後の取組の方向性について話し合った。

〈「小中一貫合同研修会」の実施方法の工夫〉

- ・保育参観、授業参観を取り入れることにより、子どもの実態と指導の現状を明確にした上で「目指す子どもの姿」のイメージがもてるようにする。
- ・予め、総合学習担当や学習指導主任、生徒指導主事からなる活動推進部会をもち、原案を示したり話し合いのテーマを明確にしたりした上で、全職員によるファシリテーションを行う。
- ・各校では、子どもの実態に応じた教育活動を念頭に計画・実践し、各校から報告し合って次の取組の方向性を考える。

④ 「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の取組

「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」のねらいやメンバー・次第・協議内容の概略

赤塚中学校区小中一貫教育推進委員会

1 ねらい

「目指す子どもの姿」を設定して取り組む小中一貫教育の意義について理解を深め、地域・保護者が一体となって活動に取り組むことができるようにする。

2 メンバー

コミュニティ佐潟会長、赤塚観光協会会長、各小中学校の校長・PTA会長、赤塚中地域教育コーディネーター

3 次第

(1) 赤塚中学校長あいさつ

(2) 小中一貫教育推進の計画と取組について説明

(3) 質疑

4 研修の概略

上記(3) 地域・保護者として協力できることについて話し合った。コミュニティ佐潟会長より、総合学習「佐潟の自然を守る活動」への協力の申し出と日程の確認があった。また各校PTA会長より、「情報機器の使い方の指導」については、各校PTAとしても保護者に対し啓発・協力していく必要があることが指摘された。

〈「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の実施方法の工夫〉

- ・地域の自治会のまとめ役であるコミュニティ佐潟会長をメンバーにし、活動に対して地域の協力が得やすいようにする。
- ・定期的に一貫教育推進についての便りを各自治会に配布・回覧してもらうこととし、一貫教育推進への取組が地域に伝わり、理解が得られるようにする。
- ・一貫教育推進委員会の会議は、なるべく他の会議と同一日に行うこととし、メンバーが集まりやすいようにする。

◆独自プログラム（「目指す子どもの姿」の達成を図る教育活動は◎）

① 何を（取組内容）： ◎さわやかな挨拶の実行，小中連携したあいさつ運動の実施

【ねらい】

あいさつを通じてコミュニケーション力を培い、「相手を思いやり，協働する子ども」を育成する。

【いつごろ（時期）】

小中合同あいさつ運動 7月，各校でのあいさつ運動 年間を通して

【どのように（取組方法）】

中学生が各小学校に出向き，小学生とともにあいさつ運動を行う。

各学校でも，年間を通して，朝の登校時にあいさつ運動を行う。

② 何を（取組内容）： ◎メディアコントロールについての啓発の取組

【ねらい】

・メディアコントロール，特に情報機器の使い方について適切になるよう指導することにより，「主体的に課題解決する子ども」を育成する。

・情報機器の使い方について，小中が足並みをそろえて指導することにより，家庭への啓発を一層効果的なものとする。

【いつごろ（時期）】

5月～11月

【どのように（取組方法）】

各校共通した講師による，情報機器の使い方についての講演会を実施する。

アンケートを行い，その結果から対策を考える。

③ 何を（取組内容）： 保育参観研修

【ねらい】

保小中の教職員の情報共有，相互理解を促進する。

【いつごろ（時期）】

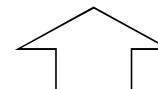
8月（保小中連携夏季研修会）

【どのように（取組方法）】

小中の教職員が，校区内3つの子ども園・保育園を訪れ，保育の様子を参観し情報交換を行う。

【中学校区における目指す子どもの姿】

目標をもち、主体的に課題解決に向かう子ども 地域から学び、共に伸びていく子ども 相手を思いやり、協働する子ども



【「目指す子どもの姿」を実現するために、生活科・総合的な学習の時間で行う教育活動】

【中学校区における身に付けさせたい資質・能力】

- ・目標を明確にし、主体的に課題解決に向かって努力しようとする力
- ・地域から学び、地域に貢献しようとする姿勢
- ・相手の立場や気持ちを考え、協力し合って活動できる力

【9年間を見通した学習の仕方】

「赤塚中学校区学習スタンダード」

- ・発表者の方に体を向けて、最後まで静かに聞く。
- ・その場にふさわしい言葉遣いと声の大きさで話す。
- ・名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。
- ・正しい鉛筆の持ち方を身に付ける。
- ・正しい姿勢で椅子に座る。
- ・時計を見て行動する。時間になったら活動を始める。
- ・机の上に教科書、ノートを整理して置く。

【独自プログラム】

「目指す子どもの姿」の達成を図る教育活動は◎

◎さわやかなあいさつの実行、小中連携したあいさつ運動の実施
あいさつを通じてコミュニケーション力を培い、「相手を思いやり、協働する子ども」を育成する。

◎メディアコントロールについての啓発の取組
メディアコントロール、特に情報機器の使い方について指導し、「主体的に課題解決する子ども」を育成する。

・保育参観
保小中の教職員の情報共有、相互理解を促進する。

赤塚中学校

学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせまるための手立て
3	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行 ・地域の環境を守る活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行を通して、集団生活や公衆道徳について学ぶ。 ・佐潟クリーン活動（全校合同） ・ふるさと講演会（全校合同） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい姿を体得する。 ・自然保護や文化財尊重の態度を学ぶ。 ・地域の良さを再認識する。 ・ラムサール条約の内容を理解し、率先して地域の環境を守る活動を考え、行動する活動を行う。 ・協力・協働の姿勢を下級生に示し、さらなる成長を促す。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・職業学習 ・地域の環境を守る活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や職業、働くこと等を通し、自分の生き方について考える。 ・佐潟クリーン活動（全校合同） ・ふるさと講演会（全校合同） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー講習会で、あいさつや身だしなみ等社会人としてのマナーを体得する。 ・様々な職業について理解し、勤労の目的や意義を考える。 ・職場体験学習で、地域の方と実際に仕事をし、社会人としての姿勢を学ぶ。 ・佐潟の現状を把握し、清掃活動を通して、地域の環境を守る活動の意義を再認識する。 ・上級生と協力し、下級生をリードすることで、思いやりの心が育まれるようにする。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域探求学習 ・地域の環境を守る活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚の歴史や文化、人々の生活を学ぶ。 ・防災や交通安全など多角的な視点を通して地域を見つめなおす。 ・佐潟クリーン活動（全校合同） ・ふるさと講演会（全校合同） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に長く住む人や、地域で働く人の話を聞くことで、地域の生活について知る。 ・施設を巡ったり、住んでいる人に話を聞いたりする活動を通して、赤塚の良さに気づき、将来に向けて自分たちができることを具体的に考える。 ・佐潟や地域の魅力を再認識し、郷土への愛着と誇りが育まれるようにする。 ・上級生や小学6年生とともに活動することとおして、協働の大切さや留意点を体得する。

赤塚小学校			木山小学校				
学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせまるための手立て	学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせまるための手立て
6	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来を考えよう 見つめ直そう 赤塚佐潟の未来 松風園訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な分野で働く人々について調べ、自分の生き方を考える。 赤塚の歴史や文化、人々の生活を学ぶ。 福祉体験を通して、人の役に立つことの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で働く人の話を聞くことで、どんな仕事に就きたいか具体的に考える。 史跡を巡ったり、住んでいる人に話を聞いたりする活動を通して、赤塚のよさに気づき、大切にしていけるようになればよいか具体的に考える。 高齢者施設の訪問を通して、高齢者との関わり方を学んだり、実際に体験して体得したりする。 	6	<ul style="list-style-type: none"> 佐渡について調べ、木山のよさとくらべよう 木山の魅力再発見！ みんなのためにできること 	<ul style="list-style-type: none"> 佐渡について調べ、体験活動を行い、佐渡と木山のよさを比べる。 砂丘や佐潟の歴史や恵みを調べ、地域の宝を守り受け継ぐ取組をまとめ、発信する。(5年と合同) UDを知り、福祉施設の体験から、みんなのためにできることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域について調べ学ぶ活動を通して、木山の魅力を再認識し、郷土への愛着と誇りを育む。 福祉を学び、みんなのためにできることを実践することを通して、相手を思いやり、協力して活動することの大切さを体得する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 見つめ直そう 赤塚 赤塚米を作ろう 松風園訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 佐潟の歴史や環境を守る取組について学ぶ。 赤塚の米作りの歴史や現状、米作りに関わる人々の思いを学ぶ 福祉体験を通して、人の役に立つことの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 佐潟の歴史や保全に関わる取組を知ることで、佐潟を大切にしていこうとする気持ちをもつ。 学校田で米を作る活動を通して、農家の抱える問題点を知り、自分たちの生活との関わりについて考える。 高齢者施設の訪問を通して、高齢者との関わり方を学んだり、実際に体験して体得したりする。 	5	<ul style="list-style-type: none"> 知ろう調べよう ふるさと木山のスイカ 木山の魅力再発見！ 木山で生きている人を調べよう 	<ul style="list-style-type: none"> 木山のスイカを知り、専門家から栽培活動を学び、詳しく調べる。 砂丘や佐潟の歴史や恵みを調べ、地域の宝を守り受け継ぐ取組をまとめ、発信する。(6年と合同) 木山地区の仕事を知り、職業体験を行い、将来の夢や仕事を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> スイカの栽培活動を行うことを通して、相手を思いやり、協力して活動することの大切さを体得する。 地域について調べ学ぶ活動を通して、木山の魅力を再認識し、郷土への愛着と誇りを育む。 職業体験を行い、将来の夢や仕事を考える活動を通して、自分の夢に向かって自ら努力することの大切さを知る。
4	<ul style="list-style-type: none"> 砂丘に学ぼう 佐潟の自然に学ぼう 松風園訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 赤塚とその周辺の砂丘の地形や形成の歴史、地域の人々の思いや保全に関わる取組を学ぶ。 佐潟の生き物について学ぶ。 福祉体験を通して、人の役に立つことの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 砂丘を歩く活動を通して、地域で暮らす人々がどのような工夫してきたのか詳しく知りたいという意欲をもつ。 佐潟について調べる活動を通して、佐潟の自然のすばらしさに気づく。 高齢者施設の訪問を通して、高齢者との関わり方を学んだり、実際に体験して体得したりする。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの食生活 1/2成人式をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> おやつ役割や効果を知り、健康によいおやつを考える。 野菜の栽培活動を行い、レシピを考え調理実習を行う。 10年間の自分の成長を振り返り、1/2成人式を行い、過去・現在・未来の自分をみつめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培活動や調理実習を行うことを通して、相手を思いやり、協力して活動することの大切さを知る。 木山で栽培できる野菜がたくさんあることを知り、多くの恵みをもたらす地域への愛着をもつ。 自分の成長を振り返り、1/2成人式を計画し実践することを通して、自分の将来について考え、夢をもつことの大切さを知る。
3	<ul style="list-style-type: none"> 赤塚のじまんをみつけよう 松風園訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 赤塚の特産であるすいかと大根を育てたり、地域での栽培の様子を調べたりする。 赤塚の伝統芸能やそれを守る人々の努力を学ぶ。 福祉体験を通して、人の役に立つことの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材園ですいかや大根を育てる活動を通して、地域ではどのように栽培したり収穫したりしているのか知りたいという意欲をもつ。 伝統芸能を見ることが、伝統芸能のすばらしさに気づき、大切にしようとする気持ちをもつ。 高齢者施設の訪問を通して、高齢者との関わり方を学んだり、実際に体験して体得したりする。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 木山を知ろう おいしく育て木山の大根 食べ物がかせになろう 	<ul style="list-style-type: none"> 校区について調べ、木山探検を行い、地図やカードにまとめる。 木山の大きさを調べる、専門家から栽培の仕方を学び、栽培活動を行う。 大根の食べ方を調べ、調理や工場見学を行い、調べたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域について調べ学ぶ活動を通して、木山のよさを調べる、地域への愛着心をもつ。 大根の栽培活動や調理活動を行うことを通して、相手を思いやり、協力して活動することの大切さを体得する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 町のすてき大はっ見 わたしたちの野さいばたけ 生きものと友だち 桜井の里訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 町探検を通して、地域に対する愛着をもつ 野菜の栽培や小動物の飼育を通して命の大切さを学ぶ。 福祉体験を通して、人の役に立つことの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 町探検で地域の人と関わる活動を通して、地域のよさを味わう。 教材園で野菜を育てたり、教室で小動物を育てたりする活動を通して、命の大切さに気づき、それに関わる様々な問題を主体的に解決しようとする。 高齢者施設の訪問を通して、高齢者との関わり方を学んだり、実際に体験して体得したりする。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 町のすてき大はっ見 わたしたちの野さいばたけ 生きものと友だち みんな大すき わたし大すき 	<ul style="list-style-type: none"> まち探検を行い、住むまちに親しみをもつ。 野菜の成長を楽しみながら、栽培活動を行う。 生き物を育てる活動を行い、命の大切さを知る。 自分の成長を振り返り、感謝の気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> まち探検を行い、調べる活動を通して、自分が住むまちに親しみをもち、よさを知る。 野菜の栽培活動や生き物を育てる活動を通して、友達と協力することの大切さを学ぶ。 自分の成長の様子を調べ成長を自覚するとともに、これまで支えてくれた多くの人がいることを知る。
1	<ul style="list-style-type: none"> がっこうたんけん わたしのあさがお あそびにいこうよ いきものだいすき もうすぐ2年生 桜井の里訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに校庭や公園、佐潟に行き、季節の遊びを楽しむ。 もうすぐ入学してくる新1年生のためにできることを相談し、準備する。 福祉体験を通して、人の役に立つことの大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭や公園、佐潟で遊んだり、植物や生き物と関わりあう活動を通して、地域のよさに気付く。 新1年生を思いやり、喜んでもらえるように迎える準備をする。 高齢者施設の訪問を通して、高齢者との関わり方を学んだり、実際に体験して体得したりする。 	1	<ul style="list-style-type: none"> がっこうたんけん わたしのあさがお あそびにいこうよ いきものだいすき もうすぐ2年生 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を探検し、友達や学校に親しみをもつ。 あさがおの栽培活動を行い、大切に育てる。 校庭や公園に遊びに行き、季節の遊びを楽しむ。 生き物に親しみをもち、ふれあう。 自分ができるようになったことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検や公園遊びを行う活動を通して、自分が住むまちに親しみをもち、よさを知る。 あさがおの栽培活動や生き物を育てる活動を通して、それらが自分たちと同じように命をもっていることに気付く。 自分ができるようになったことを振り返り、発表する活動を通して、友達と協力することの大切さを学ぶ。